

可能性 壊さないで

中学校で乱用防止講座

新宮市立城南中学校は16日、薬剤師の小林仁さんを行使に招き、「喫煙・飲酒・薬物の乱用防止講座」を開いた。例年の講座は喫煙のみだったが、飲酒と薬物についても加えた。1年生45人が受講。それぞれが引き起こす悪影響を学んだ。

小林さんは「大麻や覚せい剤だけでなく、薬やアルコール、たばこのニコチンなども薬物」と説明。「薬物の使用にはルールがある。麻薬は買うのも使うのもだめ。お酒やたばこは20歳になってから。薬は使用上の注意

を守って。ルールを守らないと乱用に」と呼び掛けた。

たばこの害について、▽ニコチン混じりの水にミミズを入れると、ミミズがのたうち、やがて死ぬ▽喫煙者の黒い肺を再現した模型に空気を送るがあまりふくらまず、非喫煙者のピンクの肺の模型は大きくふくらむ▽たばこの煙を吸わせるとウサギの血管に血が流れなくなる—などの動画で示した。「筋肉が収縮し、手や頭にも血が流れなくなる」と話した。

喫煙・飲酒・薬物

成長が遅くなり、運動ができなくなり、覚えにくくなる。みんなは大切な成長の時期。栄養と酸素を体に送る必要がある。たばこでみんなの可能性が減る」と力を込めた。

アルコールに関しても、「飲むと分解にエネルギーを使い、成長にエネルギーが行かなくなる。体が育っていかない。脳の機能も低下し、成長やこれからの可能性に大きな悪影響がある」と強調した。薬物に関しては、大麻（マリファナ）の有害性に言及。29歳の大麻乱用者が書いた手紙の写真を写しだし、「漢字がぜんぜん使われておらず、心や日ぐらいしか書いていない。悪影響があるのは明らか」と述べた。

た。

自由について「自分のことだけでなく、全ての人を平等に認め合い、尊重する行動が自由。勝手、気ままと間違わないように」と持論を展開。「たばこや酒、大麻を使うのが自由ではない。周りを巻き込み、自分の成長や可能性を壊してしまう。それは勝手に、自由ではない。本当の自由を知ってほしい」とまとめた。

（瀬戸正善）



中毒の恐ろしさを学んだ

暮らしの中に三重の木を

カタログ2種の内容を更新

三重県森林・林業経営課はこのほど、みえの木や木材製品をPRする「みえの木と暮らしの木製品カタログ」と「みえの木と暮らしのDIYキット」の冊子を改訂した。

暮らしの中に手軽に県産材を取り入れてもらおうと作成しているもので、それぞれA4判。同課によると改訂は2年ぶり。小ささまざまな商品、生産者の情報と合わせて紹介している。また、

暮らしの中に手軽に県産材を取り入れてもらおうと作成しているもので、それぞれA4判。同課によると改訂は2年ぶり。小ささまざまな商品、生産者の情報と合わせて紹介している。また、



講師の小林さん